



2025年度 第3号

(通算 第9号)

発行月 2026年3月吉日

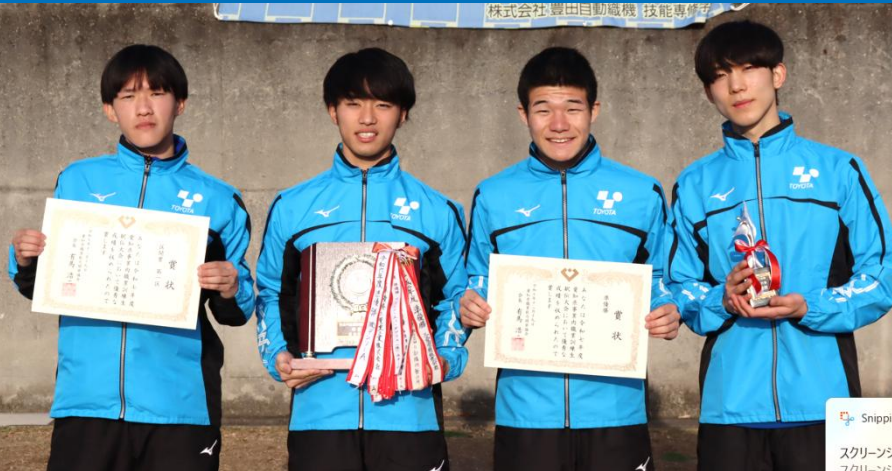
発行部署 技術技能ラーニングセンター
技能専修学園

発行人 田辺 祥士

 豊田自動織機

Link

～つなぐ佐吉翁の精神 つながる人の絆～



学園長 ご挨拶

平素より、技能専修学園の取り組みに格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、2025年度の学園生（第44期生）は、去る2月26日に晴れて修了式を迎えることができました。これもひとえに、社内外関係者の皆様ならびにご家族の皆様の温かいご指導とご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

修了式には多くのご家族の皆様にもご臨席いただき、ご子息・ご息女の成長した姿をご覧いただけたことを、大変嬉しく存じます。

修了生は今後、配属先の職場において、厳しくも温かい箴打ち（指導）を受けながら、立派なモノづくり人材としての布を織り成し、各方面で活躍してくれるものと確信しております。引き続き、皆様のご理解とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



学園長
田辺 祥士

1 1月～2月の主な行事

愛知県事業内職業訓練生体験発表会・文化展（11/28）



愛知県事業内職業訓練生体験発表会が刈谷市総合文化センターで開催され、木島さんが学園代表として「役割を超える瞬間」という演題で熱意ある発表を行い、見事優勝を果たしました。木島さんは リーダーとしての立場にとらわれず、自ら行動を起こすことで、組織の意識を変えていった学園訓練での経験を語り、その内容は聴講していた学園生たちの心に深く響きました。さらに、同時に開催された文化展の写真部門では、安藤さんが見事入選を果たしました。



【小島さん】体験発表で、他企業の学園生も同じようなことで苦勞をし、それをどう乗り越えたのかを聞いたことで、考え方ややり方を変えてみるのが大切だと気づきを得ることができました。



【掛平さん】今までは身の回りだけを意識していればよいと思っていましたが、信頼を積み上げていくためには寮や実習中の作業台など細かいところまで4Sをして信頼される人を目指していきます。

愛知県事業内職業訓練生駅伝大会(12/19)



愛知県内 11 社の訓練生がトヨタスポーツセンターに集い、駅伝大会が盛大に開催されました。全 16 チームが競い合う中、A チームは 2000 年（第 19 期生）の優勝に次ぐ堂々の準優勝を果たし、B チームも健闘の末 9 位入賞という成績を収めました。さらに、1 区を担当した三川さんは、持ち味を存分に発揮した力強い走りでも間賞を獲得し、チームの好成績に大きく貢献しました。



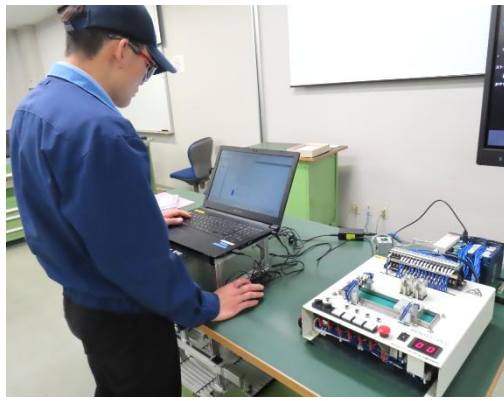
【加藤さん】試合前はとても緊張しましたが、タスキを受け取った瞬間に「絶対に次へ繋ぐ」という仲間への思いが強くなり走り切れました。仲間と共に挑戦する、という気持ちを今後も大切にしていきます



【松谷さん】私は選手ではありませんでしたが、選手と応援者の全員が一致団結し優勝を目標に挑んだ経験から、努力と応援の大切さを学びました。配属後も何事にも全力で取り組んでいきます。

技能照査(2/11)

学園訓練の総仕上げでもある技能照査実技試験は「機械組立て仕上げ」「治工具仕上げ」「普通旋盤」「フライス盤」「数値制御フライス盤」「シーケンス制御」の6職種に分かれて実施しました。



【藤本さん】練習で遅れていた私を、指導員は最後まで見捨てずに、励まし・支え続けてくれたことで本番に合格することができました。今後も、感謝の気持ちを忘れずに生活していきます。



【高瀬さん】短期間で多くの技能を身につけられたのは、指導員の丁寧な指導と、仲間と相談し改善・工夫したこと結果です。フライスメンバー全員で協力し合い、合格できたことが嬉しいです。



【村上さん】治工具仕上げでは高い精度が求められ、最初は思うようにできませんでした。しかし原因を追究し改善を重ねたことで精度が向上し、本番では高得点を取ることが出来ました。



【上牧さん】照査本番では何度もミスをしたのですが、あらかじめミスをした時の修正方法を考えていたので問題なく対応できました。学園で学んだ一年間が確かな成長に繋がっていたと実感しました。



【酒井さん】照査を通して、自分の思い込みが多くのミスに繋がっていると気づきました。原因を一つずつ確認し考えることの大切さを学んだので、現場でも正確さを意識して行動していきます。



【美濃島さん】最初の通し訓練では思うような結果が出ませんでしたが、仲間とお互いにアドバイスをし合い、得意なことを共有することで切磋琢磨し、全員で合格を掴むことができました。

修了式(2/26)

技能専修学園第44期生60名（海外留学生4名を含む）の修了式を執り行いました。

修了生代表による「誓いのことば」では、心身訓練を通じて学んだ、仲間と共に目標へ挑戦することの大切さや、初めて家族と離れて生活した経験から実感した、家族の支えの大きさについて、感謝の思いを込めて述べられました。

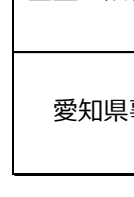
式の最後には、修了生全員で実践目標を唱和し、11か月に渡る訓練を締めくくりました。



【大岩さん】この一年は多くの学びと経験に満ちた時間でした。知識や技能だけでなく、責任感や協力の大切さを学び、学園で培った力を土台に信頼される職制を目指します。



【水野さん】専門実技や厳しい訓練に悔しさを感じる場面もありましたが、仲間と指導員の支えで乗り越えられました。この一年の経験を糧に、これからも精進していきます。



【永松さん】入社後は初めてのことがばかりでしたが、様々な挑戦を自ら進んで行うことで積極性が身につきました。修了後も実践目標を意識し、挑戦を続けていきます。

表彰	対象者
愛知県知事表彰	椎名さん
社長表彰	瀧島さん
愛知県職業能力開発協会会長表彰	和田さん
愛知県職業能力開発協会会長表彰	堀さん
愛知県職業能力開発協会会長表彰	小林さん
愛知県技能士会連合会会長表彰	荒木さん
愛知県技能士会連合会会長表彰	水野さん
学園長表彰【奨励賞】	北田さん
学園長表彰【奨励賞】	鈴木さん
学園長表彰【功労賞】	
全豊田訓練生総合競技大会 陸上競技の部 「男子4×400mリレー」 優勝	小牧さん 荒木さん 稲生さん 高田さん
学園長表彰【功労賞】	
全豊田訓練生総合競技大会 陸上競技の部 「男子1500m」 優勝	稲生さん
学園長表彰【功労賞】	
愛知県事業内職業訓練生 体験発表会 前段の部 優勝	木島さん



【修了生配属先職場】

事業部	人
トヨタL&Fカンパニー	13
エンジン事業部	9
電池事業室	7
自動車事業部	6
エレクトロニクス事業部	6
技術技能ラーニングセンター	5
コンプレッサ事業部	4
繊維機械事業部	2
生技開発センター	2
ダイエンジニアリングセンター	1
プラントエンジニアリング部	1

第3期修了生からのメッセージ（1984年（昭和59年）4月入社）



コンプレッサ事業部
北濱さん

スポーツ刈り、朝からの生ラジオ体操、規律訓練。学園で行うことすべてに対して、当時は「なんで？」と疑問を感じていました。まさに昭和の「気合い」と「根性」が前面に出た環境でした。座学や実技も分からないことばかりでしたが、「何とか対応しないといけない」という危機感から必死に取り組み、その経験が最後までやり遂げる力につながったと感じています。学園という同じ境遇に置かれていたからこそ、同部屋・同班の仲間との連帯感や助け合い、協力する姿勢が自然と身につく、仲間の大切さや自分自身の人間づくりを学ぶことができた1年間だったと思います（当時はまったく分かっていませんでしたが……）。

配属後はコンプレッサ事業部にて、世界一の製品の開発・設計に携わり、日々自分のスキル向上に励み、先輩に追いつけ追い越せと努力しました。海外出張や製造部門への異動、職制業務なども経験し、とても有意義で楽しい会社生活を送ることができました。大変なことも数多くありましたが、学園で過ごした1年間があったからこそ乗り越えることができ、無事に定年を迎えられたのだと思います。

学園で共に頑張った仲間は、かけがえのない大切な存在です。「学園卒」という共通点を通じて縦・横のつながりが広がり、会社生活の幅も大きく広がりました。何か困ったときには、きっと助けてくれる仲間です。

【学園在学生・修了生に一言】学園の1年間をどう過ごすか、そしてどう生かすか。高い志を持って過ごすことで、必ず皆さんのプラスになると思います。さまざまな場面で期待され、プレッシャーを感じることもあると思いますが、感じすぎず、元気で明るく、コミュニケーション力を高め、向上心（積極性）を持ってスキルアップし、今後も活躍してください。

最後に一言。気合いと根性も、少しは必要ですよ！！



【編集後記】今年度も無事に、第44期修了生を配属先の職場へ送り出すことができました。3月に開催された校友会懇親会（学園OB・OGの会）には、多くの修了生が参加し、それぞれの職場での活躍の様子を聞くことができ、大変心強く感じました。また、44期生からも、配属されて間もない中ではありますが「配属先の先輩方が優しく、期待に応えられるようこれから職場で頑張ります」といった頼もしい言葉を聞くことができました。

お問合せ先：

(株)豊田自動織機 技術技能ラーニングセンター
 技能専修学園 学園グループ 担当：新美
 〒474-0035 愛知県大府市江端町 3-217
 TEL：0562-48-9706 FAX：0562-48-9742
 E-MAIL：gakuen@mm.toyota-shokki.co.jp

【ご意見・ご感想は
こちらから】

